

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	葛原 憲治	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
基礎アスレティックトレーニングの講義とアスレティックトレーニング実習をベースにして、スポーツ傷害の評価、傷害に対する処置法と予防法、治療、アスレティックリハビリテーションといった専門知識の理解及びスキルアップを図ることを目的とする。特に、学内の強化指定クラブと連携しながら、スポーツ傷害予防のプログラム及びパフォーマンス向上のプログラムの構築と処方を実践する。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で授業を行う。授業内容に応じて、グループワークを中心にディスカッション、プレゼンテーション、現場実習を取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	専門演習ゼミの運営方針等を説明する。	☐
第2回	卒論テーマの検討 1（図書館で資料収集）	図書館で文献検索を通して、卒論テーマを検討する。	☐
第3回	卒論テーマの検討 2（インターネットで資料収集）	インターネット検索を通して、卒論テーマを検討する。	☐
第4回	卒論テーマ発表会準備 1	卒論テーマ発表会に向けて、パワーポイントによる資料作成および発表準備を行う。	☐
第5回	卒論テーマ発表会準備 2	卒論テーマ発表会に向けて、パワーポイントによる資料作成および発表準備を行う。	☐
第6回	卒論テーマ発表会	卒論テーマ発表会をパワーポイントを用いて行う（3年生ゼミと合同で実施）。	☐
第7回	卒論の項目立ての検討	学術文献や卒業生の卒論を参考にして、卒論の項目立てを検討する。	☐
第8回	卒論の構成の検討	卒論項目立ての構成を完成させ、提出する。	☐
第9回	文献や資料の要約 1	卒論に関わる文献や学術論文の要約をして提出する。	☐
第10回	文献や資料の要約 2	卒論に関わる文献や学術論文の要約をして提出する。	☐
第11回	文献や資料の要約 3	卒論に関わる資料やインターネットからの情報等の要約をして提出する。	☐
第12回	卒論の経過確認	卒論の進捗状況を確認し、今後の方向性を検討する。	☐
第13回	卒論経過発表会の準備	卒論経過発表会に向けて、パワーポイントによる資料作成および発表準備を行う。	☐
第14回	卒論経過発表会	卒論経過発表会をパワーポイントを用いて行う（3年生ゼミと合同で実施）。	☐
第15回	まとめ	前期の卒論の取り組みを総括する。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前に各自の卒論テーマに沿った文献や資料検索がスムーズにできるように準備をする（2時間程度）。事後として、収集した文献や資料を要約し、卒論執筆に活用できる記述や内容を確認する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
課題は、添削をしてから返却し、全体として共通のポイントに関しては全体で共有できるように指導し、個別のポイントに関しては学生個々に個別指導をすることを複数回行い、最低限の様式や内容になるように指導する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	卒論や現場実習を通して、スポーツや健康増進に関わる専門的なトレーニングやコンディショニング指導をすることができる

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	20%	80%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 卒論テーマ発表および経過発表の内容を評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし（必要に応じて資料を配布する）	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	酒井聡樹、これから論文を書く若者のために（究極の大改訂版）、 共立出版	
2		
3		
4		
5		